

第三次観光・交流活性化行動計画パブコメ意見リスト

ページ	内容	結果
全体	<p>2020年6月8日開催の議会で議員一般質問に対して「平成28年度に観光施設関係者だけではなく、多様な主体が参画する観光戦略推進会議を設置し、アクションプランの推進やPDCAサイクルによる事業の見直しなどを継続的に進めてきたところであり、観光戦略推進会議での協議や関係者へのアンケート調査結果により、DMOとしての組織は設立せず、観光戦略推進会議を意思決定の場と位置づける方針としたことから、今後は多くの分野が連携して主体的に取組を進める体制や機能を持つ零石版観光地域づくりを形成し、計画を推進したいと考えております」回答しているが、第三次計画では、また最初からDMOの組織作りから始めるという事を、観光戦略推進会議の場で撤回したという事で理解してよろしいか。</p>	<p>DMOという組織の設立に対し、既存組織の統合・解体を含め協議してきた経緯がありますが、組織の設立は難しいという判断から、観光戦略推進会議を意思決定の場として位置づけておりました。</p> <p>令和2年6月の議会以降、町内観光施設等の実態調査結果や観光団体等の協議が進められ、DMO形成することにより、町の観光地域づくり体制が強化されることから、観光戦略推進会議等で協議し、DMOを形成することとしました。</p>
全体	<p>観光戦略推進会議は平成28年度に設置されたようですが、どのような会議体なのか例規集に設定されていません。設定し、町民が理解できるようにして下さい。</p>	<p>観光戦略推進会議は、町内の様々な観光事業者、飲食店等が参加し、DMO形成に向けた勉強会や観光振興事業等の展開について具体的な協議や情報共有を行ってきております。</p> <p>観光推進に関わる様々なメンバーが参画し、テーマによってメンバーを変更できる場として、特に設置要綱等は定めずに開催しております。</p>
第2章	<p>第2章 零石町の観光・交流の現状と課題</p> <p>第二次観光・交流活性化行動計画において、形成に至らなかった問題点はどこにあり、これを打開するため推進責任部門を決め、どのような検討会議を何回行い、どの様に承認し、どの様に決定するのかDMO形成のための推進体制を明確にする必要があると考えます。</p> <p>冒頭の観光地域づくり組織（DMO）が形成された時点で、本計画の内容を見直すこととしますと表記されているという事は、早期に形成を実現する案をもっての事でしょうかからそれを示していただきたい。</p>	<p>観光地域づくりの目的は、観光により地域が稼げるようになることであることから、観光分野だけでなく農業・商工分野とも連携した体制づくりが必要です。</p> <p>これまでの経緯を踏まえ、今回は観光だけでなく他分野の課題も共有し、解決策と推進する体制について検討しているところです。</p> <p>DMOの登録は観光庁が行っており、次年度いっぱい受付が終了する見込みであることから、次年度中にDMO形成・登録を目指します。</p> <p>また、DMO登録には、形成計画を策定することが必須であることから、今後は形成計画を中心とした計画の見直しと推進をすることとなります。</p>
第5章	<p>第5章 計画の推進体制・町の役割</p> <p>庁内に観光商工課とは別にDMO機能を持たせた観光戦略推進室を設置し、観光戦略推進会議に観光戦略の判断決定権を持たせ推進したらどうか。</p> <p>各種計画の関連性は行政が把握しており、予算化するのも行政、観光戦略推進会議の事務局も行政、議長も町長でしょうかから第一弾で庁内に観光戦略推進室を設置し、第二弾で民間組織に業務移管したらいかがでしょうか。町づくり会社と同じようにまずは組織を作ってしまうDMOを推進したらどうか。</p>	<p>上記のように、稼げる観光事業を取り組むためには民間主体のDMOを中心とすべきと考えており、特定地域づくり事業協同組合機能も持たせた組織を検討しております。</p> <p>DMOが形成された後には、DMO主体の計画を推進し、町は行政としての役割を担いながら連携していきます。</p>

第三次観光・交流活性化行動計画パブコメ意見リスト

ページ	内容	結果
全体	<p>雫石型DMOとしての観光関係事業者を一本化し雫石の各方面の優位性を洗い出して、雫石を支持し再訪するリピーター客を増大させていく、という大まかな方向性は見えてきたと感じる。</p> <p>具体案についての言及がないので、豊かな自然景観こそ雫石の財産であり、それを活かす方向の案を提言する。</p>	<p>非常に具体的で貴重なご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>「第三次観光・交流活性化行動計画」（案）では、DMO形成を最優先とした計画であり、DMOが形成されるまでは、町・観光団体・観光施設等が協力しながら事業を展開していきます。</p> <p>DMOが形成された後は、より強力な体制で観光振興事業を展開できると考えており、DMO主体の計画を推進し、町は行政としての役割を担いながら連携していきます。</p> <p>どの提案もこれからの本町の観光振興に大切なコンテンツであり、且つ、一事業者・一分野での取り組みだけでは成し遂げることが困難であると考えます。</p> <p>DMOとして観光分野だけでなく他分野の地域事業者等と連携を強化し、ご提言いただいた内容を活かした事業を展開できるよう推進していきます。</p>
	<p>1) スキー</p> <p>①初心者向けに雫石型ビギナープラン</p> <p>②中級者向けにスタンプラリー</p>	
	<p>2) スノーシュー</p> <p>愛好者も増えており、ツアーも人気だが近隣自治体と比較して安価であることから、価格の検討が必要。</p> <p>雪山ハイキングを着地型観光のコンテンツとして全国に売り出せるくらいのポテンシャルがある。</p>	
	<p>3) 水</p> <p>町内にいくつかある湧水は、場所によって水質も異なり、水汲みにわざわざ訪れる人もいるので、適当なネーミングを商品化できれば宿泊施設などでも販売できると思う。</p>	
	<p>4) 食と泊の分離</p> <p>夕食を提供することは宿にとっては重労働であるし、リピーター客にはサービスを増大していく面もある。</p> <p>一方で地域性や季節性を際立たせるものを提供している場所がなく、春の山菜、旬の夏野菜、秋のきのこ、雫石牛、重っこ料理という分野を食べられる場所が欲しい。</p>	
	<p>5) 花</p> <p>駒ヶ岳や小岩井農場、スキー場のゲレンデで見られる山野草、蛍など、見せ方を工夫すれば付加価値が高いものであることから、売り出し方を考えるべき。</p> <p>ガーデニングも盛んであり、オープンガーデンなど女性に人気のコンテンツだと思う。</p>	
	<p>6) グリーン・ツーリズム</p> <p>現在の受入は農業体験に特化しているが、自然体験やエネルギー施設等の見学による温暖化の学習など、もっと多面的取組もできるのではないか。</p>	